

平井栄一編

佐渡鑛山史

其二

佐渡鑛山史目次

一〇、明朝大正時代

(一) 概論

649 (一) 各年度鑛況説明と操業成績
(事業報告概要)

649 (二) 坑内開發要論

649 (三) 副社長の訓辭

649 (四) 鑛岩機、使用沿革と採掘法

649 (五) 労働争議と勞務係新設

649 一一 昭和時代

(一) 概況

711 (一) 鑛況の説明と事業成績一

(各年度事業報告概要)

711 (二) 拔柄山(拔鑛)と濱石採收

711 (三) 鑛石品位の變化

778 (四) 低品位鑛大量處理方針と濱石採收計畫

(五) 濱石採收取消訴訟問題

(六) 佐渡鑛山に於ける浮遊選鑛法の發達狀況 771

(七) 近年に於ける探鑛採鑛狀況 771

(八) 朝鮮勞務者事情 544

(九) 敗戦後の操業状態 16

三 佐渡鑛山の金銀産出量 256

三 佐渡鑛山と佐渡 171

四 結語 881

編纂後の感想

784 779 773 770 744 740 738 736 730 721 649 647

897 888 857 846 844 838 771